

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3270		事務事業名称	農村環境整備事業						短縮コード	経常		臨時	3270
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		食料・農業・農村基本法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和46年、農道の整備により農業を含む農村地域の活性化を図り、都市と農村を結ぶ生活に密着した道路の整備を行い、農村環境の保全向上を図るため開始した。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
農村周辺が都市化し、環境改善の遅れによって将来の担い手である若者が農村を離れ、高齢化が進み農家が減少傾向にある。						大項目（節）	01	農業						
						中 項 目	01	農業						
						小項目（施策）	01	農業生産基盤の整備と利活用						
							04	農村環境の整備						
						細 項 目	04	土地改良施設の維持						
							05	農村集落の生活改善						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・農村地域内の農道 ・農政課の管理用地 ・土地改良団体									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ・農道の補修 ・農道を管理する土地改良団体への碎石の支給 ・農政課管理用地の草刈り									
	※平成21年度に計画していること： ・農道の補修 ・農道を管理する土地改良団体への碎石の支給 ・農政課管理用地の草刈り									
意図 （何を狙っているのか）	・農作物の安定輸送 ・荷傷み防止 ・農作業の円滑化									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	19年度	20年度		21年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	基幹農道の延長	k m	197.9	197.9	197.9	197.9			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	基幹農道整備延長	m	0	0	0	0			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	基幹農道舗装整備率	%	20.3	20.3	20.3	20.3			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3270	事務事業名称	農村環境整備事業			所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			地域の要望により農道の整備を行い、補修が必要な個所については適切に補修を行い、土地改良団体が管理している農道については、砕石を支給し自ら補修をしてもらう。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
		☐ 廃止(事業完了含む)					
		☐ 休止					
		☒ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			農業農村の振興を図るため、農村環境等のさらなる向上が求められている。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
低 下	☐		☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
基幹農道の整備はさまざまな地区から要望が寄せられている。 土地改良団体からも砕石の支給を増やして欲しいという要望が多く寄せられる。	

所属長コメント	・集落における農業を取り巻く環境が厳しくなるなかで、生活環境の維持改善を図りながら、生産の安定化に寄与するため、必要な事業を進めていく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
		☐ その他
☐ 廃止(事業完了含む)		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		